

民間から悠久壮大冥想

提唱・人間社会規範

二〇一四年十二月十五日

JOMON^{縄文}あかでみい 山田 ^{まなぶ}学◎

人間社会人民が、健康平和な現実認識の世界学を追究しあひ、おたがひの健康平和人生を追求しあふ。健康平和とはどういふことか、ほんたうに現実を認識してゐるか、について、自由に批評しあふ。おたがひひとりひとりの健康平和人生にある個性を尊重しあふ。

人間社会をひとつの〈健康平和現実認識協同〉へ組織していく。さういふ未来協同すなはち未来にある協同へ組織していく。

世界は、あるいは世界の諸分野は、本質と構造と現象の統一である。人間社会人民にはそれぞれ、世界、あるいは世界の諸分野について、現象認識や構造認識や本質認識がある。それらを健康平和な現実認識の立場から自覚的に組織していきあふ。未来協同は思考統合の面においては学問発達体として組織していく。

ひとりひとりとは〈健康平和な現実認識の学問・技能・規律・体力〉を自分に増し〈世界対応の自由〉を拡張していく。ひとりひとりにある健康平和発想のまま生活する。

人間社会の呪術・宗教・哲学・科学・政治の伝統を止揚（形式は否定するとともに内容は保存）し、含まれてゐた健康平和な現実認識を、再編していきあふ。各種現場の渾沌とした情報にもとづき、表象調和の累積により、秩序ある予想を形成していきあふ。実験（予備実践）と運営ないし経営の実践により、認識の健康平和性と現実性を確認するとともに、認識と実践を改善・改革・変革していきあふ。かうして健康平和な現実認識を生産していきあふ。

人間社会の諸民族闘争史と階級（資産格差）闘争史において、病的戦争な架空認識もそれなりに必然であつた、と反省しあふ。

健康平和な現実認識において、諸民族の源流を探っていく。地球表面の各域の生態系、そのうちにおける諸民族性の生成。その必然について、理解しあひ、また、経営や政治における、今までの諸民族闘争。その必然についても、反省しあふ。その上において、諸民族調和への経営、ないし政治解消を、開拓していきあふ。

この五百年間、先進国の資本家階級の資産増殖目的もあり、結果として人間社会の市場が統一されつつある。

そろそろ、資産格差拡大から、資産格差縮小へ、転換させあふ。未来協同目

的の実現への金融（寄付と融資と投資）を発達させあふ。生産的階級循環（剰余労働量の集積と寄付の循環）を促進しあふ。

労働力（といふ商品）と通常商品と貨幣（といふ商品）を媒介とし、人間社会人民おたがひの健康平和生活を生産しあつていく。未来協同は生体協力の面においては生産調和体として組織していく。

家庭とは、恋愛・出産・保育・教育といふ、特殊な労働と、生活の休養面のための、協会である。さう考へる。

同好会とは、職場の分業労働を修正する、保健的な労働や、分業認識を修正する、保健的な認識のための、休養協会である。さう考へる。

職場とは、人間社会人民おたがひの健康平和生活を目的とする、生産調和体へ向け、自由に創造していく。さういふ、生活の労働面のための協会である。さう考へる。

家庭と同好会と職場の毎日において地球表面の諸域の毎日においておたがひの健康平和生活を研究しあふ。健康平和な需要を発見しあひそれらに有効な供給を開発しあふ。しだいに人間社会の供給体制を資産増殖目的から未来協同目的へ再編していきあふ。

人は生れ、やがて老い、あるいは病ひともなり、いづれ死ぬ。個人の生活ないし人生を、とくにその体内のあり方を、現実の人間社会発達と、どうつなぐか、冥想する。現実の世界進化と、どうつなぐか、冥想する。健康平和な、姿勢動作や、呼吸や、食事や、人間関係や、精神や、生活環境。これらを、子々孫々にわたるまで、追究しあひつづける。さういふ、道德共同体を、はじめぬ。これが、情感安定への道である。保健といふ能力のある認識、これを追究しあひつづける。未来協同は情感安定の面においては道德共同体として組織していく。

人間の生理的進化としての体内感覚にもとづき人間社会人民が各自が健康平和生活を復興していく。快か不快か、体内が調和してゐるか否か。人間社会人民が各自がこの認識にもとづき健康平和な姿勢動作と呼吸と食事と人間関係と精神と生活環境を復興していく。そしておたがひの矛盾の解決として、健康平和研究を調和させていく。

普遍的に人間は特殊的に各民族は個別に各自は、健康平和な現実認識を追究し続けるため、生活の瞬間瞬間において、姿勢動作はどうあればよいか、呼吸はどうあればよいか、食事と排泄はどうあればよいか、人間関係とくに異性関係はどうあればよいか、精神はどうあればよいか、生活環境はどうあればよいか、人間社会人民が各自がそれぞれ死ぬるまで工夫しあひ続ける。これを冥想生活と言ふ。冥想生活がすなはち保健であり、冥想生活において道德を発達させる。

世界の現実を反映してゐる認識が現実認識であり、世界の現実を反映してゐない認識が架空認識である。ただし、人間の健康平和にとり、それが架空認識であると自覚した架空認識は、有益であることもある。それは睡眠中の夢や覚醒中の芸術内容などにおいてある。

体内の調和を想ひ体外への対応を想ひ健康平和な現実認識を発達させる。苦しみを楽しみ悟りにする呼吸をする。常におたがひの実力不足をお詫びしあひ続ける。生活と生産のすべてのご縁をありがたく受け取り続ける。人間社会人民はおたがひ、世界に、すなはち体内と体外と認識したいに、すなはち生活と生産と自然と宇宙に、感謝し対応ないし適応していく。

道徳といふ生活規範は個々人に属するものである。道徳共同体の運営や指導において可能なのは、道徳そのものでなく、道徳案、道徳の提案のみである。

諸民族は、各時代や各域の生態系にもあはせ、多彩な生活方法や生産方法や世界観や倫理、これを展開してきた。それらの現実史をなるべく知り、地球表面の民衆通信を形成していきあふ。まづ理屈ぬきに、おたがひ似てゐるか似てゐないか、情念融和を追求しあふ。祖先追想道のすすめである。その上において、先述の、思考統合や、生体協力や、情感安定を、追求しあふ。未来協同は情念融和の面においては民衆通信として組織していく。

言語や貨幣の形式にとらはれ、その内容(意味や価値)といふ、社会関係を正しく理解しない。つまり、人間社会人民が、おたがひの認識と労働を、正しく理解しあつてゐない。さういふ現状を反省し、意味とは何か、これをひろく深く理解した言語へ、価値とは何か、これをひろく深く理解した貨幣へ、変革していく。

この数千年間、国家といふものは、残念ながら、部族ないし民族闘争と、資産格差拡大のための、組織として、発展した。社会の敵対性を保護し統制する、伝統であつた。社会の敵対性そのものを、しだいしだいに解決していく、まうひとつの公共。これを民間から創造していく。情念融和のためである。既成の国家や政治を、しだいしだいに、先述の、学問発達体(思考統合)や、生産調和体(生体協力)や、道徳共同体(情感安定)や、民衆通信(情念融和)へ、止揚していく。さういふ、政治解消世論も、結集していきあふ。

未来協同すなはち人間社会のひとつの(健康平和現実認識協同)組織が創造されていくにつれ、諸国家はしだいにその機能を縮小し最後は解消される。理性ある(地球表面共栄)を創造していく。

*

以上の意志へ統一していく規範を人間社会規範としてご提唱申し上げます。どう統一していくか。皆みなさまによる創意工夫もご期待申し上げます。人間の(認識と表現と労働と生産と休養)を未来協同へ統一していく社会改善です。

〈提唱・人間社会規範〉といふ文章だけに接すると、ほとんどの皆さまは、いきなり、むづかしいことば、ばかりだ。とても、わかりにくい。さう、感ずるでせうか。しかも、なぜ、旧いかな、なの？

七十年前、ヒロシマとナガサキに、原子爆弾といふものが、落とされました。日本の民族は、純情です。戦争は、こりごりだ。人間の理想とはなに？ 社会の理想とはなに？ お肚なごの底から考へる、日本の人が、多くゐました。

わたくしは、四十年あまり前から、さういふ、多くの日本人に、真剣に、学びつづけました。

なにがわかつたか。健康や、平和、といふことは、とてもとても、簡単なことではありません。

でも、とても複雑な道を、皆さまにて、歩みつづけるなら…それがあれば、人間の理想へ、社会の理想へ、近づくことができる。さういふ、複雑な道について、わたくしは、お肚なごの底から、納得できたのです。

その複雑な道について、そのまま書くなら、これから、何十冊もの本を書くことが、必要です。

が、今、世界の各地にて、テロなどの問題があります。ほんものの健康へ、ほんものの平和へ、皆さまと話しあふことを、急ぎたいです。

〈提唱・人間社会規範〉といふ、短い文章は、夜空にて、遠く北極星を見つめるやう、接してください。何十冊もの本の内容を、もつとも短くまとめた、文章です。

皆さま、おひとりおひとりの、生活や人生と、深くつながる内容が、この短い文章のどこかに、かならず、あります。おひとりおひとりにとり、この文章のどこかに、それは、あるか。それを見つめるやう、接してください。

そして、ここが大切です。ほんものの健康へ、ほんものの平和へ、ご自分にて近づくやう、工夫してください。健康や、平和、といふものは、ご自分にて近づくやうとされないかぎり、得られません。

そのためもあり、まづ、もつとも短くまとめた、文章だけを、わたくしは、お示ししました。

が、この文章への、感想や、質問や、意見や、また、内容を具体的にする案や、文章の一部を修正する案。これらを、どしどし、わたくしにお聴かせください。わざわざ、さうしていただくことが、ご自分にて、健康や、平和へ、近づかれる、ことになります。

わたくしは、できるかぎり、おひとりおひとりに、満足していただけるやう、真剣に、お話しあひを、させていただきます。

さまざまな民族が、ほんたうに、調和しあつていくためには、反対に、それ

それぞれの民族が、それぞれ自分の民族の伝統について、お肚の底から、想ひをめぐらすことが、必要です。

日本の民族は、やまとことばの、声や呼吸について、とても大切にしました。そのことを想ひだすためには、むしろ、旧いかなのはうが、ふさはしい。だから、旧いかなにて、書かせていただいてをります。なれない方には、ごめんなさい。

わたくしへの連絡先

(郵便) 〒221-0822横浜市神奈川区西神奈川1-13-14-307 山田 学

(FAX) 045-319-0920

(メール) arigatou@image.ocn.ne.jp

通信でなく、わたくしの顔など見ながら、話されたい。さういふ、小集
会も歓迎です。〈未来協同へ〇〇会議〉(〇〇は地名など) でせうか。

わたくしどもについで

二〇一五年三月十六日 山田 学

わたくしは不思議な人間でせう。学びかたが一般人とはとてもとても異質だからです。

でもでも、健康平和な現実の認識、これのみを追究してきました。

わたくしを不思議に思ふのは、とてもとても残念ながら、今の社会のほうが、病的戦争な架空の認識、実はこれにまみれてゐるからです。

わたくしは簡単なことを申し上げてゐるではありません。といふより、社会改善のとても長い道のりを、ご提唱申し上げてゐます。しかし、すべてを論理的に考へ、情念の融和する道もたどり、ある、とてもとても狭き門のみ、ひとすぢの希望がある、なら、ほかのさまざまな誘惑や、迷ひなんぞ、問題となりませんでせう。

わたくしは、さういふ深い深い確信のもとに、ご提唱申し上げてゐるのです。架空の認識ではありませんから、無理に信仰する必要ありません。逆に、皆みなさまから、ほんたうに健康平和か、ほんたうに現実を認識してゐるか、厳しく批評していただきたいです。結果、少しは修正も、必要となるかもしれませぬ。わたくしが特別ではなく、人間は、健康平和な現実の認識の前に、平等です。

来世ではない。未来協同なのです。

どなたかの降臨ではない。おたがひの協同なのです。

地球表面の進化。生物系の進化。人間社会の発達。それを踏へ、おたがひを、組織しあつていく。

わたくしどもは、理想と本質の認識の、提唱者にすぎない。現実と現象の認識から、少しづつ、少しづつ、少しづつ、育てていただきます。

近代の日本人は、イギリス人とアメリカ人などに学んできました。イギリス人は、絶対に、正しいですか。アメリカ人は、絶対に、正しいですか。

近代以前の日本人は、中国人などに学んできました。中国人は、絶対に、正しいですか。

そして、日本の縄文の人も、どこかは賢い。さう、想ひませんか。

世界の本質は何か。世界の諸分野の本質は何か。人間社会の規範の本質は何か。

百数十年以上前に、これを真剣に考へ抜いた、ドイツの学者がゐます。結果は、中途半端でした。

この流れを受け継いだ、実は民間の日本の学者がゐます。受験勉強にとらはれない、出世にとらはれない、民間の学者だからこそ、まともに受け継ぎ、さらに発達させることができました。わたくしもそのうちのひとりなのです。

一方、七十年前のヒロシマ、ナガサキへの原爆に、こころを撃ちぬかれた。健康の本質は何か。平和の本質は何か。お肚なかの底から、考へ抜いた。さういふ、日本の思想家がゐます。縄文の人のやうな、純情さにて。わたくしもそれを受け継ぐひとりです。

先のドイツの学者の、深い深い思索。実はこれをほとんど理解できず、誤解したまま、できた国。それがソ連邦でした。破綻しました。それを破綻させた国が、アメリカです。

でも、アメリカ人に、深い深い思索があるでせうか。確かに、強い軍事産業はありますが…

世界の本質は何か。世界の諸分野の本質は何か。人間社会の規範の本質は何か。健康の本質は何か。平和の本質は何か。

皆みなさまとともに、思索しあつていきたい。情念しあつていきたい。日本社会は、軍事産業より、本質論の事業を、新しく興しませう。インターネットの情報を、わかりやすく整理しあつていくためにも。

わたくしどもは、未来協同への社会改善、これのみを、祈り、願ひ、誓つてをります。

協同の本質といふことは、縄文の人のやうな、純情さにてこそ、可能なのです。

上に「ずる」がつくかもしれない、賢いイギリス人や、アメリカ人や、中国人などには、かへつて、難しいのでせう。

よろしくわたくしどもを、お育てくださいませ。

まうひとつの、情念の融和として。

まあ、個人や家族や諸組織の、資産を増殖する闘争のなか、未来協同へ、といふ調和も、それなりにありうる。さう、想ひませんか。